

# 全学体験ゼミナール 40278「原子力・核融合の研究開発現場を見てみよう」(S2集中)

## 工学部システム創成学科A(環境・エネルギーシステム)コース

### 大野雅史

夏休み期間に原子力・核融合の研究開発現場を視察し、それらの現状とそれらを用いた研究、今後の展開に関する理解を深めます。  
関連科目を履修していない学生や初心者の方もおいに歓迎します。まったく危険性はありません。

**実施スケジュール(予定)** 詳細説明は、6月上旬～7月中旬ごろの指定日(6限)に駒場キャンパス内(予定)で行います。

9月14日(月)

- 8:30 東京大学(本郷地区) **工学部9号館1階**に集合  
(根津駅より徒歩5分、東大前駅より徒歩10分、本郷三丁目駅より徒歩20分)
- 9:50 東京大学柏キャンパス(プラズマ実験施設)見学
- 13:00 日本原子力発電株式会社東海第二発電所(テラパーク)到着、昼食、見学
- 15:00 原子力専攻(フェムト秒電子ライナック・レーザー、医療用先進小型加速器・レーザー、重イオン照射設備、核融合炉設計基礎実験装置など)見学、研究活動紹介
- 夜: 宿泊は東京大学共同研究員宿舎(茨城県東海村内)を利用

9月15日(火)

- 9:00 量子科学技術開発機構(QST)那珂研究所(核融合実験装置 JT-60SAなど)見学
- 12:20 日本原子力研究開発機構(JAEA)大洗研究開発センター到着、昼食、(JMTR、HTTR)見学
- 15:30 バス出発
- 18:00 東京大学(本郷地区)工学部9号館で解散

費用: 交通費は不要です(貸し切りバスを使用予定)。

初日の昼食代、2日目の朝食代・昼食代および宿泊費のみ自己負担願います(1泊3食で合計5,000円以下)。

定員: 見学先収容人数や宿泊人数などの制限のため、一応40名とさせていただきます。

女子学生の参加も大歓迎です。なお宿泊は個室です。

全行程にわたり東京大学大学院工学系研究科大野雅史准教授が引率します。

単位の認定: 全行程に参加し、当日示す課題に関するレポートを期限までに提出した者に単位を認定します。

ただし、2年生の報告締切日には間に合いませんのでご注意ください(もちろん、最終的に単位は認定されます)。

なお、本科目は昨年度まで、8月上旬に実施してきたが、今年度は、現下の社会状況を鑑み、上記のスケジュールにおいて  
とりあえず実施を予定しているところである。ただし、**今後の社会状況の変化によっては、さらにスケジュールの変更、または  
中止の可能性もある**。変更あるいは中止の際は、適宜、掲示板にて連絡するので、注意すること。

連絡先: 大野 雅史 本郷工学部8号館736号室 [ohno@n.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:ohno@n.t.u-tokyo.ac.jp)  
佐藤 百合絵 原子力専攻事務室(東海) [sato.yurie@tokai.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:sato.yurie@tokai.t.u-tokyo.ac.jp) 電話: 029-287-8426

# 視察ルートマップ



- ① 東京大学柏キャンパス(プラズマ実験施設)
- ② 日本原子力発電株式会社東海第二発電所
- ③ 東京大学東海村キャンパス工学系研究科原子力専攻
- ④ 量子科学技術開発機構(QST)那珂核融合研究所
- ⑤ 日本原子力研究開発機構(JAEA)大洗研究開発センター

日本原子力発電(株)東海第二発電所



貸切バス車内



新領域創成科学研究科プラズマ実験装置RT-1

原子力専攻



JAEA 原子炉 HTTR



懇親会  
(2020年度は実施できない可能性があります)



原子力専攻 電子線型加速器



QST INTOR 超伝導マグネット



QST 核融合実験装置 JT-60SA 建設中



QST 核融合実験装置 JT-60 トロイダルコイル



QST 核融合実験装置 JT-60 制御室

